

平成 28 年度大学コンソーシアムとちぎ「大学を超えた共同研究支援事業」報告書

所 属 機 関 名	作新学院大学女子短期大学部	
団体・グループ等名	とちぎ学研究会	
研究代表者名 (所属部署)	西田 直樹 (作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 教授)	
研究連携担当者名及び連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・春日正男 (作新学院大学 特任教授) ・増山正明 (足利工業大学 教授) ・丸山純一 (文星芸術大学 教授) ・白石 昇 (関東産業能力開発大学校 学務課長) ・大槻 稔 (自治医科大学 学事課課長補佐) ・乾 泰典 (帝京大学 総務グループ庶務チームリーダー) ・石原正興 (宇都宮大学産学官コーディネーター) 	
研究連携校名	<ul style="list-style-type: none"> ・作新学院大学 ・足利工業大学 ・文星芸術大学 ・関東産業能力開発大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治医科大学 ・帝京大学 ・宇都宮大学 ・作新学院大学女子短期大学部
関連自治体・経済団体等名		

1. 研究事業名	「とちぎ学」（地域学）の教育プログラム推進事業
2. 実施年度	平成28年度・29年度
3. 研究成果等	<p>大学コンソーシアムとちぎ加盟校の多くが、地域密着型の高等教育機関である。これらの組織が担う社会的使命の一つに、「地域を支え、地域の未来を創る力を持った人材の輩出（又は育成）」がある。ところが、地域を支え、地域の未来を創るべき若者が、そのフィールドとなるべき地域に対して、どれほどの知識を持っているかといえば、その知識は極めて脆弱なものである。それは、単に彼らが地域に対する愛着が薄いのではない。かれらが受けてきた教育において、「地域を学ぶ」機会が少なかった事が第一の要因なのである。多くの学生が、小学校の3・4年生の社会科の地域学習を最後に、体系だった教育を受けていないのである。</p> <p>私たち栃木県内の高等教育機関は、そこで学ぶ若者の多くが、地域を支え、地域の未来を創る人材として活躍できるように（若者の多くが、働く場や生活の場である地域社会との「つながり」を構築できるように）するため、高等教育機関において「地域学習の教育プログラム」の創出と普及に努める必要がある。どんなに専門的な知識を身に付けていても、働くフィールド（つまり「地域」）に対する関心や知識が低ければ、本当の意味で「地域に役立つ仕事」はできないはずである。</p> <p>「とちぎ学」の構想において、まず軸となるのが「地域の歴史」である。教科書には登場しないが、地域の歴史を考える上で重要な事項を「大学生の地域学習」の視点から選択し、教材研究及び教材の作成を行う必要があった。</p> <p>今回は、太平洋戦争の沖縄戦において沖縄県警察部長として住民保護に尽力した荒井退造（1900～1945）の顕彰と、平成28年に市制施行120年を迎えた宇都宮市の歴代市庁舎のCGによる再現であった</p> <p>この2つの事項について、得られた成果は、以下の通りである。</p> <p>①荒井退造の研究及び授業の実施 荒井退造は、栃木県芳賀郡清原村（現 宇都宮市）の出身者で、宇都宮中学校（現 宇都宮高等学校）の卒業生である。沖縄戦時に沖縄県警察部長として住民の避難保護に尽力した人物だが、官僚としての活躍の場が県外であり、彼に関する史料も少ないため、出身地である栃木県や宇都宮ではほとんど知られていない存在である。そこで今回、「とちぎ学」の授業の中で荒井退造について学ぶ教材（テキスト）を作成した。今後「とちぎ学」の授業で受講者に配付して、荒井退造の顕彰と同時に仕事への責任感の醸成を図ることになる。</p> <p>②宇都宮市の歴史についての研究と授業の実施 宇都宮市は、1896年に市制を敷き、宇都宮市となった。市庁舎は宇都宮町時代の役場がそのまま使われていたが、その後3度の建て替えや移転が行われ、現在の庁舎が4代目となる。特に2代目庁舎は若者が好むレトロな洋風建築であると同時に、宇都宮空襲で焼失したという歴史を持っている。地域の歴史を学ぶと同時に平和を考える教材としてのポテンシャルを有するものであった。そこで今回は、文星芸術大学と共同で宇都宮市の歴代市庁舎をカラーCGで再現し、日本人の近現代における生活文化も含めた形で地域の歴史について学ぶ教材及び授業プログラムを作成し、「とちぎ学」の授業において実施した。</p>
4. 今後の課題及び発展性	今回の研究及び授業の実践において、学生は写真が残っている近現代の歴史の方が関心を持ち易いことが判明した。今後、写真など視覚的な史料を用いた教材開発を念頭ににおいた地域学習プログラムの開発に取り組んでいきたい。